

【給食協会賞】給食はいいな

安城西部小学校 神谷 柚妃

私が給食の良いと思う所は三つあります。一つ目は、私は前まで給食よりもお弁当の方が好きでした。なぜなら、自分の好きな食べ物がたくさん入っているし、私がいままで好きではない牛乳がないからです。でも、今は給食の方が好きです。給食は栄養バランスがとれているからです。例えば、七月十八日の一学期最後の給食で、クロスロールパン、牛乳やパンプキンオムレツ、まめとオクラのトマトスープ、コールスロー、たくじょうコールスロードレッシング、いちじくジャムが出てきました。

クロスロールパンは炭水化物、牛乳は無機質などの栄養があつて、パンプキンオムレツは無機質やビタミン、まめとオクラのトマトスープは、タンパク質やビタミンなどの栄養があつて、コールスローは主にビタミン、いちじくジャムにも主にビタミンなどの栄養があるので、給食はとても栄養のバランスがとれているので、私はお弁当よりも給食の方が良いと思います。でも、大人になったら給食を食べることはほとんどないと思うので残念です。

二つ目は、同じ班の子と仲良く話すことができるということです。理由は、同じ班の子と話すことは給食以外あまりないと思うからです。なので、席がえしたときには、給食の時間に話をしたりして仲良くなったり、席がえする前よりも仲良くなったりすることができるので、給

食の時間はいいなと思います。私は六年生で初めて同じクラスになった子がいて、六年生になるまで一度も話したことがない子だったので、仲良くなれるか心配で不安でしたが、同じ班になってから給食の時間にたくさん話しかけたりしたら、仲良くなることができましたのでうれしかったです。六年生になってから二回も同じ班になったので、これからも仲良くしていきたいです。

三つ目は、みんなで協力することが出来るということです。給食を作ってくれた人や、野菜などを育ててくれた人に失礼なので、みんなで完食を目指してクラスみんなで協力できるので、給食は良いと思います。みんなで完食するために、私は五年生のときよりも給食を減らさないように心がけています。二学期は増やしても食べれるのであれば、なるべく給食を増やせるようにしたいです。六年生の始まりのときは、あまり完食することが出来ていなかったけれど、一学期が終わるにつれて、だんだん完食することが出来るようになってきました。私もし給食を作る人だったらとても悲しい気持ちになります。なので、六年生が終わるまで毎日完食をしたいです。そして、中学校は赤松と福釜で分かれています。卒業までに給食の時間に同じ班の子と楽しく話をして、クラスのみんなとたくさん給食の思い出をつくりたいです。そして中学生になっても完食を続けていきたいです。